

行財政改革推進計画の進捗状況について（平成 27 年度実績）

1 平成 27 年度の実績

(1) 効率的な事業実施及び多様な主体との協働

ア 新たな公共プロジェクトの実施状況

別紙 1 参照

イ ボランティア・市民活動センターの機能拡充

区民センター改修工事に伴い、同施設に中間支援施設を整備し、平成 28 年 4 月から供用を開始した。

ウ 育成室の新規開設等に伴う運營業務委託の導入

本郷第三育成室の移設、文林中学校育成室の新規開設に伴い、平成 28 年 4 月から業務委託を導入した。

エ 指定管理者制度の新規導入

新江戸川公園集会所「松聲閣」については平成 28 年 1 月から、文京福祉センター湯島については平成 28 年 4 月から、指定管理者による管理運営を開始した。

(2) 公有地及び区有施設の有効活用

元町公園及び旧元町小学校の保全・有効活用に関する提言の受領

「元町公園の保全及び旧元町小学校の有効活用検討会議」から、平成 27 年 5 月に提言を受領し、地元町会や区民への説明会を実施した。

(3) 健全な財政運営

ア 受益者負担の適正化について

受益者負担の適正化に向けた使用料及び手数料等の改定方針を定め、平成 28 年 4 月から使用料等の改定を行った。

イ 補助金ガイドラインについて

補助金の交付に当たって、区としての統一的な基準と定期的な検証の仕組みを示すことにより、補助金の効果的かつ効率的な執行を図ることを目的として、平成 27 年 5 月に「補助金ガイドライン」を策定した。

また、具体的な取組として、補助金交付の基本方針に基づく検証を行うため、「文京区補助金等チェックシート」を作成した。

(4) 効率的な庁内体制の構築

子ども部門組織の再編について

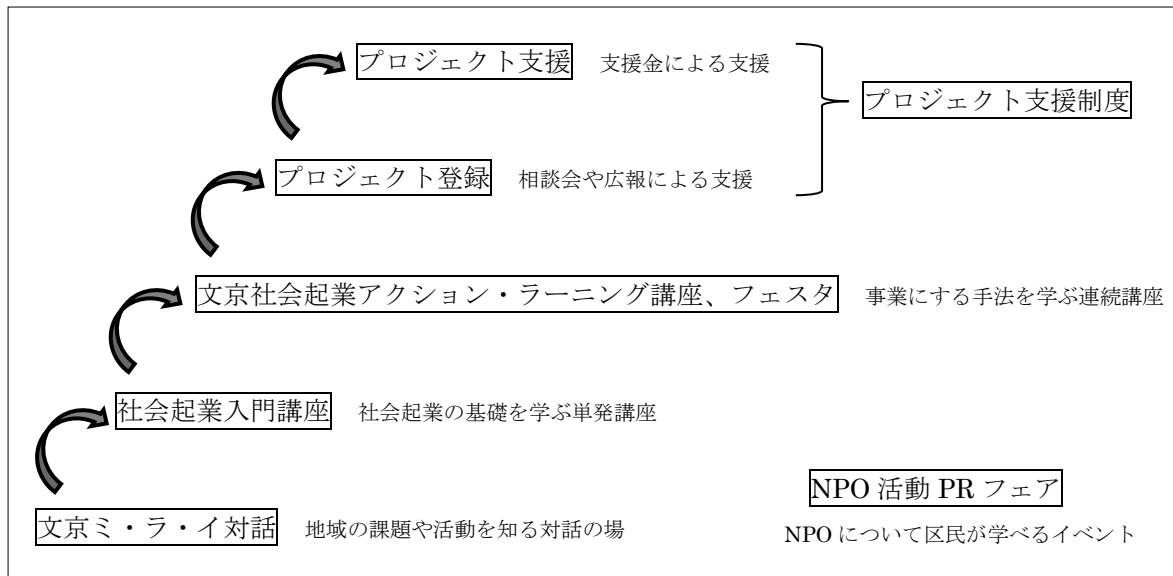
別紙 2 参照

2 今後の取組

施設管理所管部のあり方については、平成 28 年度に予定している「公共施設等総合管理計画」策定に合わせて検討を進めていく。

平成 27 年度新たな公共プロジェクトの実施状況等について

1 新たな公共プロジェクトの各種事業



2 推進体制

協働推進委員会（以下「委員会」という。）、協働推進委員会担い手創出プロジェクト支援本部（以下「本部」という。）の協力を得て、プロジェクトを推進した。

3 27 年度の実施状況

重点テーマの選定	区民と協働して地域課題の解決を図るための重点テーマについては、従来までの行政からの提案ではなく、区内大学等と連携し、全国的な社会課題を踏まえたテーマを委員会で選定した。 「文京区での暮らしの豊かさを広げていくには」
実施プログラム	文京ミ・ラ・イ対話、社会起業入門講座、文京社会起業アクション・ラーニング講座、文京社会起業フェスタ、地域課題解決のためのプロジェクト支援、NPO 活動 PR フェア等 17 のプログラム 参加者数 延 1,162 人
プロジェクトの成果	(1) 新たな地域課題解決プロジェクト 22 件 登録プロジェクト 9 件 文京社会起業アクション・ラーニング講座受講生のプロジェクト 13 件 (2) プロジェクト実施団体等が提供した事業への参加者 延 3,251 人 地域に根付いた継続的な活動を行うプロジェクトや、活動を展開しているプロジェクトも見られたことから、一定の成果があったものとして新たな公共プロジェクト事務局で評価し、委員会及び本部で了承を得た。 (3) プロジェクト支援 登録プロジェクトから、選考により 4 件のプロジェクトを選定し、支援プロジェクトとして、展開力向上及び継続力向上の区分で支援した。 展開力向上支援 1 件 継続力向上支援 3 件

4 今後に向けた課題と取組（案）

主な課題と取組（案）		
(1)	重点テーマの設定と文京ミ・ラ・イ対話	区との協働という点において、区が考える地域の課題と区民の関心があるテーマは、必ずしも一致しないため、さらにテーマ設定の工夫や事業の実施方法等を検討していく。
(2)	文京社会起業アクション・ラーニング講座	既に地域で事業を実施している方々も地域課題解決の担い手、協働事業の対象者となり得る可能性が高いため、区経済課で実施している創業支援セミナーやチャレンジショップ支援事業などと連携し、動き始めて1年程度の地域密着型の事業者に対しアプローチするなどして、地域課題解決の担い手への裾野を広げていく。
(3)	プロジェクト支援等	支援団体に、地域に根付いた事業を展開することについての理解を得ることに多くの時間を要したため、事務局が団体を支援するにあたり、地域で展開する意義・意味・メリット等について、団体と丁寧にコミュニケーションをしていく必要がある。 さらに、数値も含めて、目標管理をどのようにしていくのか検討していく。
(4)	NPO 活動 PR フェア	参加者が、全てのプログラムや団体の活動について、容易に把握することができなかつたため、全ての団体が一堂に簡易なプレゼンテーションを実施する場をつくるなど、会場配置やプログラムを工夫していく。
(5)	担い手の育成	活動が進まない団体への支援が十分とはいえないため、相互に学び合う会を立ち上げることで、団体の活動が自立的・継続的な活動となるように支援していく。
(6)	中間支援施設「フミコム」の活用について	相互交流や、連携、融合など、新たなつながりによる相乗効果により、団体の活動が活発になるように支援していく。

5 28年度の主な実施スケジュール（予定）

区民・団体向けプログラム	
5月	文京ミライ・カフェ（以後、月1回開催）
6月	プロジェクト団体連絡会（以後、月1回開催（8月を除く）） 活動支援コーディネーター養成講座（6月～3月）
10月	文京社会起業アクション・ラーニング講座（10月～3月）
12月	NPO 活動 PR フェア
2月	文京社会起業フェスタ 2017
職員向けプログラム	
10月	職層研修「協働（新任）」
成果検証の実施	
4月	第3回成果検証会議
5月	第4回成果検証会議
事業運営	
4月～29年3月 社会福祉協議会と連携して事業運営、事務引継ぎ（29年4月社会福祉協議会に事業移管）	

子ども部門組織の再編について

「行財政改革推進計画（平成24年度～28年度）」に基づき、平成28年度において、下記のとおり、子ども部門組織の再編を行った。

1 再編の考え方

- (1) 就学前の子どもを取り巻く様々なニーズを的確に捉え、迅速に対応するとともに、利用者にとって利便性の高い体制を整備する。
- (2) 放課後の安全・安心な居場所づくりのための取組を実施するに当たり、学校教育との連続性をもった事業展開を図る体制を整備する。

2 新旧組織図

